

表彰受賞おめでとうございます



国勢調査 総務大臣表彰
塩野 和子さん
(境林)

昭和 61 年から、国勢調査をはじめ各種統計調査に調査員として従事し、統計行政の推進に貢献された功績がたたえられ、受賞されました。



栃木県統計協会名誉会長表彰
村上 五十六さん
(安沢)

長年にわたり、各種統計調査に従事されてきた功績がたたえられ、栃木県統計協会名誉会長表彰を受賞されました。

12/4 (日) 塩谷地区駅伝競走大会

塩谷地区の 2 市 2 町を 9 区間で駆け抜ける「塩谷地区駅伝競走大会」が行われ、本市から代表 2 チームが出場し、A チーム 5 位、B チーム 6 位で総合 3 位となりました。1 区・小山愛実選手（那須拓陽高）、6 区・門間大輔選手（那須拓陽高）、8 区・大澤瑠海選手（矢板中）が力走を見せ、区間賞を獲得しました。沿道に駆けつけた観衆の方から全ての選手に対して惜しみない声援が送られました。

選手からは「次の大会では、さらに上位に入賞できるよう努力したい」と抱負が語られました。



12/10 (土) 被災地に元気を！

宮城県東松島市の小野駅前仮設住宅に、ボランティア団体の「風車」がクリスマスプレゼントを届けました。参加者や有志の方の協力で、矢板産のお米や野菜、市内小・中学生が工夫を凝らした手作りのクリスマスカード 1,000 通以上が贈られたほか、片岡中学生徒会が行った募金も一緒に届けられました。

仮設住宅に住む方たちは「皆さんが訪ねてくれることが何よりもうれしい。頑張る力になるのでこれからも遊びにきて元気を届けてほしい」と訪問を喜んでくれました。



12/15 (木) 福祉について考えよう

文化会館小ホールで、「第 11 回矢板市福祉のつどい」が開催されました。これは、福祉をもっと身近なものと感じ、考えてもらうことを目的に行っているものです。

当日は、たかはら学園和太鼓クラブによる演奏に続き、日ごろボランティアや慈善活動などを行っている方への表彰式が行われました。その後、「認知症介護私の一歩」と題し、女優で介護士の北原佐和子さんから、現場での体験談を踏まえた介護にまつわるエピソードが話され、来場者は聴き入っている様子でした。



12/17 (土) 武塾・創年大学発表会

生涯学習館で、「第 13 期矢板武塾まちづくりプラン発表会」が開催されました。高校生 9 人を含み、計 13 人の塾生が 3 班に分かれ、カフェでの活性化案や高校生の勉強・交流スペースづくり、遊べる場所づくりをテーマに、高校生へのアンケート結果などを交え、発表を行いました。

また、武塾生の発表に続き、ふるさと創年大学による「矢板の魅力を発信しよう」発表会も行われました。矢板を深く考え、よりよくなりたいとの思いが込められた 2 団体の発表に、参加者たちは真剣に耳を傾けていました。



12/18 (日) 企業研究セミナー

矢板イースタンホテルで、「矢板企業研究セミナー」が開かれ、市内の企業代表者による基調講演や市長を交えたシンポジウムなどが行われました。これは、昨今就職活動に対して大きな関心を寄せる大学生などの保護者に対して、矢板に立地する企業を紹介し、その魅力を PR することで、市内への就業促進を目的としたものです。

当日は、学生や保護者など約 80 人が参加し「市内にも多くの優良企業があることが分かった。企業代表の方の経営に取り組む姿勢も真摯で魅力を感じた」と感想を述べていました。



12/23 (祝・金) 自転車サンタがやって来た

道の駅やいたや市内店舗などに、自転車に乗ったサンタが現れ、「自転車のまち矢板」「ツール・ド・とちぎ」の PR を行うイベントが開催されました。これは、地域おこし協力隊の長島さんが、自転車の魅力をインパクトのあるイベントで伝えたいとの思いで企画したものです。

自転車サンタが列を成して走る姿に、すれ違う車や沿道の方たちからは手が振られ、また、出会った子どもたちにクリスマスプレゼントを渡し記念撮影するなど、楽しいひと時を過ごしました。



1/7 (土) 正月イベント初開催

矢板武記念館と郷土資料館で、正月イベント「遊びに行くべ〜あ頃のお正月をもう一度！〜」が開催されました。これは、失われつつある日本の伝統文化を子どもたちに体験・継承してもらうことを目的に初めて開催されたもので、当日は、小学生の親子連れを中心に約 200 人が羽子板や書き初め、凧上げなどを体験しました。

郷土資料館で書き初めをした参加者からは「親子で一緒に習字をしたのは初めて。今年の目標や行きたい場所などを楽しく書くことができた」との声が聞かれました。



1/7 (土) 郷土資料館 2万人達成

郷土資料館の入館者が2万人を達成しました。郷土資料館は、廃校となった上伊佐野小学校の校舎を再利用し片岡地区から移転したもので、4月に開館から丸5年を迎えます。常設展のほか、企画展なども開催しています。記念すべき2万人目の来場者となった木幡在住の見山息吹くん、すみれちゃん、里美さん家族には、館長から記念品と賞状が贈られました。賞状を受け取った息吹くんは「2万人目になってびっくりした。郷土資料館はおもしろいから、また来たい」と話してくれました。



1/8 (日) 三武道合同鏡開き

市武道館で、3武道合同の鏡開きと新年初稽古が行われました。武道館を普段利用している柔道・剣道・空手道の団体の指導者や子どもたち、その保護者など総勢174人が参加し、式典では、凛とした空気の中、模範演技が行われたほか、各団体の代表が新年の抱負を述べました。式典後の昼食会では、保護者の方より振る舞われたけんちんうどんやお餅をみんなで膝を交えて囲み、団体の枠を超えた交流を行い、親睦を深めました。



1/8 (日) 祝！成人おめでとうございます

文化会館大ホールで、実行委員8人を中心に平成29年成人式が行われ、晴れ着姿に身を包んだ392の方が新成人を迎えました。セレモニーでは、野州轟一番太鼓の細川櫻子さんが振袖姿で登場し自らの成人式に花を添えたほか、恩師からのビデオレターや当時の写真のスライドショーが披露されると、会場は笑顔と歓声で包まれました。式典後も同級生同士で記念撮影をしたり、お世話になった恩師を訪れ近況を報告したりと、時が経つのを忘れ、当時の思い出話に花を咲かせていました。



1/9 (祝・月) 泉地区新春講演会

泉公民館で、「第14回泉地区むらづくり新春講演会」が開催されました。今回は、「傾聴であたたかい人間関係を！」と題し、NPO傾聴ボランティア「ありのまま」グループ会長、そして、県傾聴ボランティア連絡協議会長である黒川貢氏に、人間関係を築く上での傾聴の大切さについて、講演していただきました。黒川氏は「傾聴を『敬聴』と考え、相手を敬う気持ちが大切」とユーモアを交えながら話し、80人を超える参加者からは笑い声の絶えない講演会となりました。



1/10 (火) 県の農業士に認定

市役所で、県名誉農業士に認定された小川正憲さん(下伊佐野)と県農業士の認定を受けた渡邊浩正さん(安沢)が、認定の報告を行いました。小川さんは、平成13年に県農業士の認定を受けた後、農業関係団体の役員等を歴任したほか、後継者の育成指導に尽力したことが認められ県名誉農業士に認定されました。渡邊さんは、平成6年に就農して以来、模範的な経営を実践し、農業振興に寄与していることが認められ県農業士に認定されました。お二人の今後のご活躍を期待いたします。



▲左から
・小川正憲さんと夫妻
・齋藤市長
・渡邊浩正さんと夫妻

1/11 (水) 矢高米が金賞獲得

熊本県で行われた「第7回全国農業高校お米甲子園」で優秀な成績を収めた矢板高校農業経営科の皆さんが、市長を表敬訪問しました。出品したお米は、10年前から栽培方法や管理の仕方を工夫しながら毎年育ててきたもので、今年は、全国84校199品もの出品があった中で、「色・つや」などの5項目が高く評価され、最高金賞に次ぐ金賞を受賞しました。市長は「矢板の米が評価され、とてもうれしく思う。皆さんの努力が金賞という結果になった。米の消費拡大を通して地域活性化につなげてほしい」と話し、期待を寄せました。



1/14 (土) ともなりくん訪問

昨年末に開催した市公式LINE「やいてみゅ」とのコラボ企画「ともなりくんぬりえコンテスト」で、見事「ともなりくん賞」に輝いた黒尾さん・樋口さんのご自宅をともなりくんが訪問しました。ともなりくんの到着を心待ちにしていた子どもたちは、抱きしめたり、一緒に遊んだりして心行くまで特別な時間を楽しみました。子どもたちは「大好きなともなりくんがおうちに来てくれてすごくうれしかった。また一緒に遊びたい」と終始ご満悦の様子でした。



▲黒尾さんご家族(上写真)
▲樋口さんご家族(左写真)